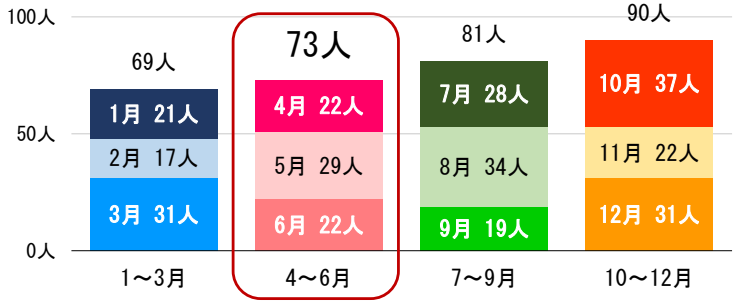
４～６月の交通死亡事故特徴

～ 過去５年間（R1～R5）の死亡事故データから見る ～

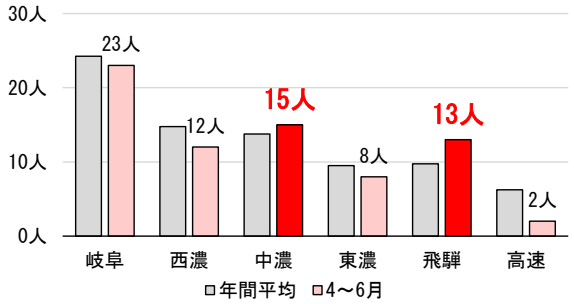
４～６月の死者数は、四半期で比較すると年間で２番目に少ないが、昼間の事故が７割強と多く、特に、昼間の14時から16時の時間帯に多く発生している。また、信号無視や前方不注視による事故、カーブでの正面衝突事故や出会い頭事故が多い。
春の行楽期でオートバイの事故が多いほか、40代や高齢者の運転者による事故が多い。また、中濃・飛騨ブロックでの事故が多発傾向である。

《４月》市町村道での事故、出会い頭事故、信号無視による事故が多く、原付乗車中の死者、高齢者の自動車乗車中の死者が多い。
《５月》昼間の事故が多く、特に14時～16時が年間で最も多い。単独事故が多い。シートベルト非着用者の死者が年間で最も多い。
《６月》カーブでの事故、正面衝突事故が年間で最も多い。運転操作不適による事故が多く、自動二輪乗車中の死者が多い。

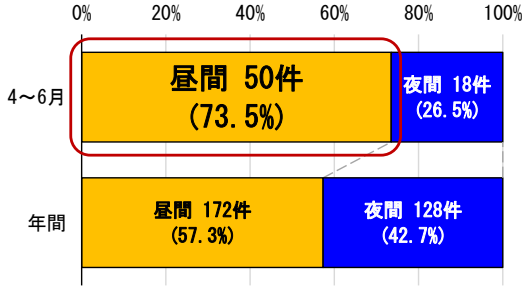
4～6月では5月の事故死者が多い



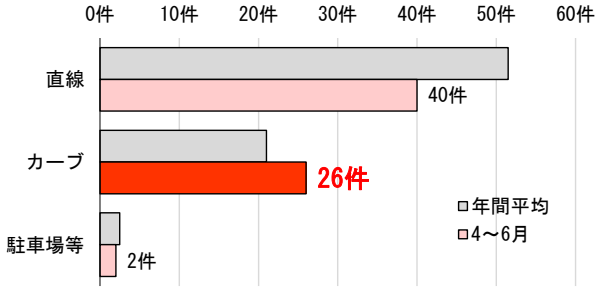
中濃・飛騨ブロックで事故が多発!



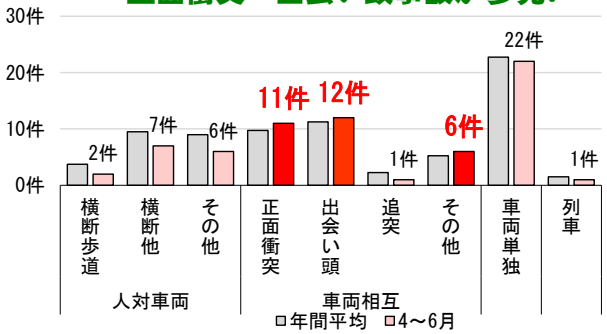
昼間の事故に注意!



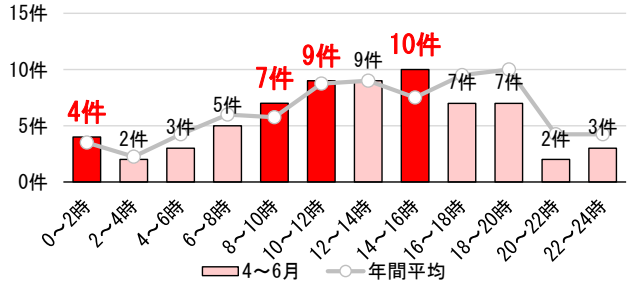
カーブでの事故に注意!



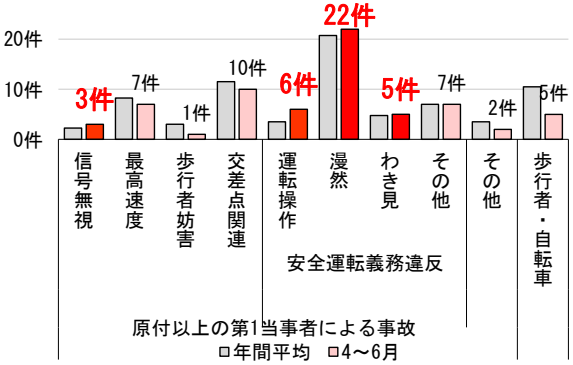
正面衝突・出会い頭事故が多発!



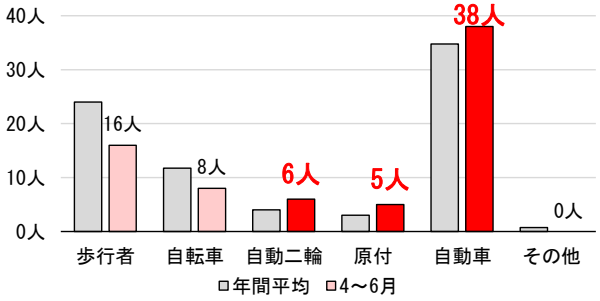
14～16時に事故が多発!



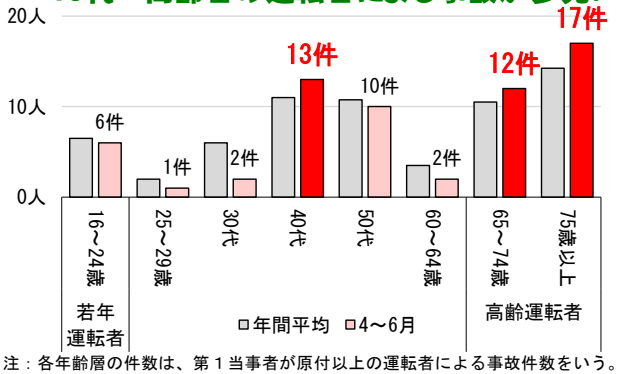
信号無視・前方不注視による事故が多発!



二輪車でのツーリング事故が多発!



40代・高齢者の運転者による事故が多発!



注：各年齢層の件数は、第１当事者が原付以上の運転者による事故件数をいう。